

報告書抄録

ふりがな	しもはねだ いせき								
書名	下羽田遺跡								
シリーズ名	県営水質保全対策事業（白鳥川中流域1期地区）に伴う発掘調査報告書								
編著者名	中村健二他、松田隆二・金原美奈子（株式会社古環境研究所）								
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課	公益財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2					
発行年月日	平成28年（2016年）3月31日								
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期 間	調査面積		調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経				
しもはねだ いせき 下羽田遺跡	しがけん 滋賀県 ひがしおうみし 東近江市 かみひらまち 上平木町	25213	205-009	35°05'54"	136°08'02"	20090706 ～ 20100331	2,700㎡	11,200㎡	県営水質保全 対策事業 (白鳥川中流域 1期地区)
						20100409 ～ 20110331	4,540㎡		
						20110411 ～ 20120329	3,460㎡		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
下羽田遺跡	集落・墓	縄文時代晩期	竪穴住居・掘立柱建物・ 土器棺墓・土坑墓・土坑・ 集石遺構		縄文土器・石器等				
	集落	古墳時代前期～ 中期	竪穴住居		土師器等				
	集落	古墳時代後期～ 飛鳥時代	溝		須恵器等				
	集落	奈良時代末～ 平安時代初	掘立柱建物・ 遺物包含層等		須恵器・土師器等				
	集落	平安時代前期	石敷遺構等		須恵器・土師器・ 灰釉陶器等				
	集落	鎌倉時代～ 室町時代	掘立柱建物・井戸		漆器椀等				
要約	<p>調査の結果、以下のような土地利用の変遷過程を明らかにすることができた。</p> <p>①縄文時代晩期末頃の墓域（土器棺墓等）・居住域（竪穴住居・掘立柱建物）・貯蔵穴から構成される集落構造を把握することができた。</p> <p>②縄文時代晩期～弥生時代前半頃の木棺墓・土坑墓群からなる墓域を検出した。</p> <p>③弥生時代終末～古墳時代初頭頃の竪穴住居からなる集落を検出した。</p> <p>④古墳時代中期頃の竪穴住居からなる集落を検出した。竪穴住居の中には造り付けカマドをもつ例があり、県内でも導入期のカマド例となった。</p> <p>⑤奈良時代末～平安時代初め頃の複数の掘立柱建物群を検出した。建物群はコ字形に配列され、数次にわたって建替えられている。</p> <p>⑥奈良時代前期頃には、広範囲にわたり石敷が施工され、そこで意図的に打ち欠いた多数の須恵器供膳具類が出土しており、何らかの祭祀に関連する施設と考えられた。</p> <p>⑦その後、室町時代頃までには条里地割に基づいて耕地化されたと推定された。</p>								